

第42期 沖縄ヤマト運輸の運輸安全マネジメントの取り組み

【輸送の安全を確保する計画及び達成状況】

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- 1

安全第一、営業第二
ヤマトグループの不変の理念を継承し、常に人命尊重を最優先します。
- 2

地域共生と防災
沖縄の豊かな生活を守るため、自然災害への備えと迅速な復興支援、そして社員の安心確保を両立します。
- 3

安全文化の構築
コミュニケーションを強化し、社員全員が意見を出し合える風通しの良い安全文化を確立します。

2. 輸送の安全に関する数値目標

- (1) 重大交通事故：0件
- (2) 重大労働災害：0件

3. 安全確保のための重点施策

- 目標達成に向け、以下の3つの柱を中心に職場環境を整備する。
- (1) 安全衛生管理の役割を明確にし、安心して働ける環境を整える。
- (2) 交通安全運動や地域社会への貢献活動を通じ、プロ意識を高める。
- (3) 社員・パートナーとの対話を通じて、相互理解を促進しコンプライアンスに基づいた実効性のある教育を継続する。

4. 具体的取組施策

- (1) **【管理体制の強化】**
安全衛生管理業務を支援するツールや仕組みの活用を通じて、運行・整備管理者や安全・衛生管理者が社員と向き合うことのできる環境を整え、安全管理の質を向上させる。
- (2) **【教育】ドラレコ映像による予知能力強化**
ヒヤリハット映像を全社員で分析・共有し、実際の危険を疑似体験することで予測運転と危険回避力を高める。
- (3) **【防災】沖縄の特性に合わせた減災対策**
激甚災害を想定した自主訓練と備蓄配備を徹底し、社員の生命を守るとともに、災害発生時には地域復興を支える体制を整備する。
- (4) **【規律】管理者の専門教育と法令遵守**
運行・整備管理者への教育を強化。形骸化させない適正な点呼と日常点検を実施し、組織全体のコンプライアンス意識を底上げする。
- (5) **【環境】作業動線の完全分離**
フォークリフトと歩行者の動線を物理的に分離し、立ち入り制限区域を明示することで、安全領域を確保する。
- (6) **【信頼】Gマーク認定の推進**
安全性評価制度（Gマーク）の維持・普及を通じ、外部基準による客観的な安全性を証明する。
- (7) **【土台】社員主導の5S運動**
「整理・整頓・清掃・清潔・躰」を徹底し、リスクアセスメントを通じて社員全員が安心して働ける職場環境を構築する。
- (8) **【文化】啓発活動と地域貢献**
各種取り組みや「こども安全教室」を通じて、繁忙期でも途切れない高い安全意識を維持し、地域社会と共に安全文化を育む。



当社の輸送の安全に関する目標達成状況

第41期 (2025年度)

目標	結果	前年度	達成状況
重大事故	0件	0件	重大人身事故 目標達成
重大労働災害	0件	0件	重大労災事故 目標達成

当社の自動車事故報告に関する統計情報

※自動車事故報告規則第2条に規程する事故に関する統計

2025年度自動車事故報告書提出実績 41期 (2025年度)

提出件数	事故類型別			
	状態別	件数	事故種類別	件数
0件	対自動車	0	転覆・転落	0
	対二輪車	0	路外逸脱	0
	対自転車	0	火災	0
	対歩行者	0	衝突	0
	単独	0	死傷	0
	その他	0	健康起因	0
			車両故障	0
			その他	0

私たちは、地域社会から深く信頼される企業であり続けるために、社員一人ひとりが日々の生活から法令を遵守し、誠実なコミュニケーションを積み重ねていかなければなりません。

ヤマトグループが守り続けてきた「安全第一、営業第二」という理念は、時代が変わってもゆらぐことのない私たちの原点です。輸送の安全を何よりも優先し、沖縄の地で選ばれ続けられる会社を目指して、一丸となって取り組んでいきましょう。

沖縄ヤマト運輸株式会社 代表取締役社長 小寺 崇

